

安心して遊ぶ環境で心と体を育む

保育士

こんな人に向いています

- ☐ 子どもが好き
- ☐ 体を動かすことが好き
- ☐ お世話をするのが好き
- ☐ 人と関わることが好き
- ☐ モノ作りが得意

子どもの心身を育む責任ある仕事 日々の成長と笑顔に大きな喜び

保育士は、乳児から小学校就学前までの子どもを預かり、子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けられるようにサポートする仕事です。安全面を見守りながら、発達に応じた保育を心がけています。現在は3歳児クラスを担当。3歳児は「自分でやりたい」思いと、「できなくて悔しい」思いが混ざる時期なので、その気持ちに寄り添いながら少しでも手を貸し、子ども自身が「自分でできた!」と達成感と自信を感じられるように意識して接しています。子どもの笑顔と成長を間近で見られることが保育士の特権です。



この仕事についたきっかけ

幼稚園のとき、いつも笑顔で子どもの話を聞いてくれる先生が大好きで、「先生ごっこ」をして真似していました。高校卒業後の進路に迷っていたとき、ふとそのことを思い出して「子どもと関わる仕事をしたい!」と保育について学べる大学を選びました。

入社7年目
安本 貴子(ヤスモト タカコ)さん



必要な資格・スキル、役に立った経験

- 保育士資格
- ピアノの練習
- きょうだい、小さい子どもの世話を手伝う経験
- ボランティア活動

お仕事の流れ



保育活動・遊び

3歳児は体を使った遊びが大好き。安全面に注意しながら、外遊びなどを楽しみます。お友だちとの関わりも出てくる年齢なので、集団の遊びを通して、ルールや思いやりを身に付けられるようにします。



給食

今日のメニューを紹介し、食事への期待感を高めてから配膳。食事中は「のどに詰まらせないか」「食欲はあるか」「いつもと違う様子はないか」など、安全面・体調面を観察しています。



お昼寝

パジャマに着がえ、トイレを済ませ、絵本の読み聞かせを聞いたら、お布団へ。毎日決まったリズムで生活することで、自然とお昼寝モードに入ります。お昼寝中の安全を見守ることも大切です。



保育日誌・おたより帳の記入

園の「保育日誌」に、本日の出欠・活動内容・子どもたちの様子を記入。保護者とやり取りする「おたより帳」には、園での子どもの様子や保護者からの問い合わせへの返事などを書きます。



行事の企画

ひな祭り会・七夕会・クリスマス会など、季節や伝統に親しむ行事を企画。行事の意味や内容を子どもたちに伝え、行事にまつわる製作や完成した工作の発表なども行って、一つの行事をみんなでつくり上げていく体験をします。



季節の作り物

園内の壁をいろいろ「装飾」(入卒園式の看板、お誕生日のお知らせ、季節の花や生き物の飾りなど)を作ります。子どもたちの感性が刺激されるほか、園全体が明るく親しみやすい雰囲気になり、コミュニケーションのきっかけにもなります。



保育勉強会

職員のスキルアップのため、園内研修を定期的に実施しています。保育に関する「勉強会」のほか、子どもたちが活動しているサッカー、よさこい踊り、リズム運動など、実際に体を動かしながら学ぶ「実技」もあります。



子育て支援

地域の親子が遊んだり交流したりする場として、保育園を開放する日を設けています。「紙芝居やパネルシアターを見る」「園の行事に参加する」「講師と一緒に体を動かす」など、子どもの年齢に合わせたさまざまな取り組みを行っています。

小学生～大学生との交流

翌年小学校に入る5歳児クラスと小学1年生の交流の場を作るほか、中学生が職場体験で園を訪れたり、高校生・大学生がボランティアで園の行事に参加したりと、さまざまな年代の生徒・学生を受け入れて交流しています。



職場ではこんな人も働いています

- 管理栄養士
- 子育て支援員
- 事務員



安本さんからのメッセージ



仙台袋原あおぞら保育園

仙台市太白区袋原 4-32-1
TEL / 022-397-9258
創業 / 1966 年 2 月 25 日
<https://nur.miyafuku.jp/aozora/>

職場見学の相談も可能です。

【連絡先: 022-397-9258 / 主任保育士(清野)まで】
※受付時間 10:00～16:00。諸事情によりご要望に沿えない場合もありますのであらかじめご了承ください。



社会福祉法人
宮城福祉会

